

ち
知

え
恵



わ
環

Chienowa
net
ねっと

Vol.53

2012年
1月20日発行

発行

環境ネットワーク・文京
〒113-0034 文京区湯島2-14-9

URL <http://www.en-bunkyo.org>

☎03-3837-1901 ☎03-3837-1901
■E-Mail sawatan@at.wakwak.com

気になる放射線 レベル7と、ここ文京区

お茶の水女子大学 大学院 人間文化創成科学研究科
ラジオアイソトープ実験センター 副センター長(兼担)

古田 悦子

福島原発事故が、原子力保安院から「レベル7」と発表されました。あの「チェルノブイリ」と同じレベルだと発表されたわけです。目に見えない放射線の恐怖を感じていた方々には、この発表イコール小児癌、甲状腺癌の多発と伝わったのではないのでしょうか。さらに、あの「チェルノブイリ」では、バスで人も家畜も大移動をしたのに日本ではそれをしなかった、といった発言もあります。週刊誌には、「東京でも子供の鼻血が止まらない症例が多発している」との記事が載り、あるいは「どんな量の放射線でも危ない」といった内容の「専門家」の書いた本が、本屋の店頭に並んでいます。でもちょっと待って下さい。こうした大げさな話は、科学的根拠がある話なのでしょうか。私は、科学的根拠に乏しい場合がかなりあると思っています(勿論、正しく書かれた本も多いのですが……)。

ます。地球上に住む限り、体外被ばくも、体内被ばくも避けることは出来ないのです。地球外に出ると、体外被ばくはさらに大きいのですが……。また、どこかの国々のせいで、過去に地球は幾度となく核分裂生成物に汚染されてきました。日本にも気流に乗って飛散してきていました。しかし、その影響で癌が増えた証拠となる数値はどこにもありません。わずかの事例のご紹介ですが、これらは科学的に証明されている事実です。では、今の状態を良しとするかと言われるたら、勿論「ノー」です。では、私たちに求められることは何でしょうか？ 私は、「正しく気にすること」だと思っています。

今現在、何もなかったという態度で暮らそうとする人達がいいます。「原発事故があった」のですから、この態度は少しおかしいと思います。ご自分で放射線量を測るなり、自治体の測定結果をチェックするなり、ニュースも「また同じようなニュースか」と言わずに、しっかり聞いて下さい。でも、気にし過ぎないで下さい。

ここ文京区は、原発事故周辺地とは比べものにならない低い放射線量です。雨どいの出口付近は放射線量が他と比べ少し高い場合が多いのですが、そこに暮らす人はいないはず。気にし過ぎるストレスは、別の病気の原因になります。ただし、食品の「検出限界以下；ND」という標示には、注意が必要です。検出限界とは、測定器の性能によって決まってくるため「いくつの値が検出限界となっているのか」が重要なチェック項目です。結局、流通食品が(暫定)基準値以下になっているか否かが重要なわけです。

放射線影響への対応は、長期戦です。少し肩の力を抜いて、起こってしまったことに向き合ってください。チェルノブイリとは全く事情が違います。

原発事故直後の比較

	チェルノブイリ	福島第一原発
核反応	暴走 ⇒爆発、火災	自動停止 ⇒冷却不能
事故基	1基	4基
核分裂生成物	190 トン	351 トン:約2倍
(相対)飛散率	1	1/6
急性被ばく者	28人⇒致死	0人

既に皆さんはご存知かと思いますが、例えば、自然放射線は程度の差はありますが、どこにでもあります。自然放射性物質と人工放射性物質からの放射線には、何ら違いはありません(種類やそのエネルギーは色々ありますが)。

その自然放射性物質は、私たちの体内に多種が存在し

地域エネルギーマネジメントシステムの構築に向けて

—大丸有〈大手町、丸の内、有楽町〉地区の取り組み—

東京都環境局 環境政策課長 宮沢浩司

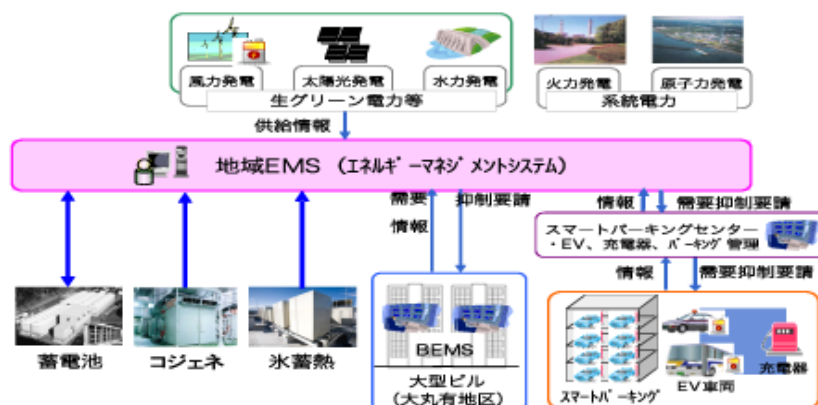
都は、オフィスビル等の業務系施設が集中して立地する都内の地域特性を捉え、三菱地所(株)と連携し、地域におけるエネルギー需給の最適化を図るとともに、再生可能エネルギーの導入拡大など低炭素で、かつ防災力強化の面からも有効な地域エネルギーマネジメントシステムの構築に向けた基礎調査を実施している。

エネルギー需給を地域単位で管理する仕組みは、政府主導でいくつかの実証実験が始まっているが、本調査の特徴は、①電力と熱の一体管理を行うこと、②テナントへのデマンドレスポンス要請を行うこと(テナント参加型のエネルギー調整)、③エネルギー需給制御の運営主体を確保すること、の3点に集約できる。

①については、高効率なコージェネレーション設備を導入するとともに、電力・熱の双方を使い切って総合効率を最大限に高めることを目指す。②については、テナントの協力を得て、電力需要逼迫時にエネルギー使用量を一定程度抑制する取り組みを検討する。③については、再生可能エネルギーなど低炭素電源の調達と域内における電力需給調整を行う管理運営事業者を誰が担うべきなのかについて、

採算面も含め検討する。

本調査では、現時点で実現可能な技術・手法を幅広く活用し、大丸有地区という実際のフィールドを想定して、導入効果や技術的な課題を検証することとしている。来年度は、本調査を更に進化させ、実証フィールドにおける事業化の可能性検証(事業スキーム構築、事業収支検証)を行う予定である。こうした取り組みにより、災害時にもエネルギーを一定程度、安定的に供給できる体制を整備するとともに、平常時にもエネルギー需給の最適制御により、大規模なテナントビルの低CO2化を誘導していく。



【地域エネルギーマネジメントシステムのイメージ】

《新春随想》

地域の絆を再生する担い手に

環境ネットワーク・文京 理事長 澤谷 精



新春 あけましておめでとうございます。

去年は、改正NPO法が6月15日、新寄付税制が6月23日に国会で成立し、前者は2012年4月1日から、後者は2011年6月30日から施行されています。

特定非営利活動促進法は1998年3月に公布され、現在、NPO法人は約4万2千法人あると言われています。日本でNPOが目玉されたのは、日本社会が成熟化し、人々の価値観が多様化して、行政主導の日本の社会経済システムの限界が顕在化し転換期を迎えているためであると言われています。

内閣府も、2004年の国民生活白書で、日本において「公」が独占的に担ってきた公共サービスを「民」へ移行する、いわゆる「新しい公共」の概念を提唱しました。これまでの公平・平等の行政の第1セクター、利益優先の企業の第2セクターだけでは世の中はうまくいかない

ので、多様性・先駆性のNPOの第3セクターが必要とされたのです。

NPOは新しい公共を担い、自立と共生を基本として地域の絆を再生する人間らしい社会を築く担い手であり、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動を促進し、行政や企業の価値観に左右されない多面的で自由な活動を推進することが期待されています。

日本のNPOは、他のセクターと対等に自主的に社会の変革に寄与できる第3セクターとしての力をつけることが大きな課題でありました。そのためには、経済的自立が最も大切であり、新寄付税制が施行されたことは自立に大きな弾みになると期待されます。

環境ネットワーク・文京は2003年5月に発足し、文京区環境改善活動に地道に取り組んで8年になります。今年には認定NPO法人を申請して、より自立した、地域の絆を再生する担い手を目指してまいります。

このページに掲載している情報の詳細は、区ホームページ「環境・ごみ」→「環境」注目情報に掲載していますのでご参照下さい。※申込書や申請書もダウンロードできます。

「知ろう！省エネランキング」集計結果～夏期最終ランキング～

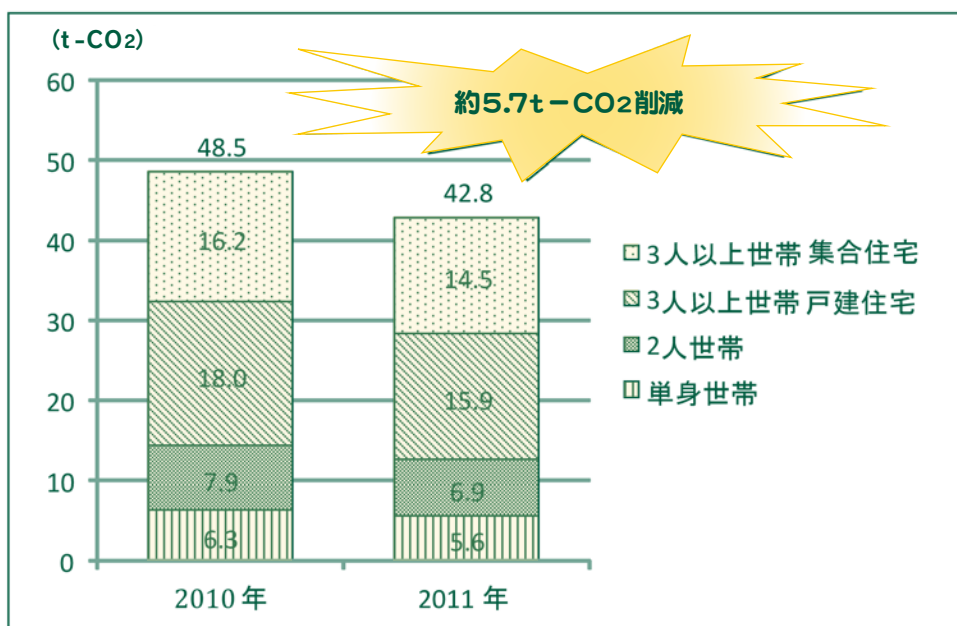
1. モニター世帯で約5.7tのCO₂削減を達成！！（2011年6月～9月）

集計対象は、全モニター100世帯のうち二酸化炭素排出量が前年分（2010年6月～2010年9月）と比較可能な75世帯です。

下図は二酸化炭素排出量の対前年比較結果です。

対前年比較可能世帯の合計排出量は、2010年の48.5t-CO₂に対し、2011年は42.8t-CO₂となり、約5.7tの二酸化炭素が削減できました。

また、全体の変化率は、対前年比で11.6%の減少となっています。



【夏期計測期間(6月～9月)の二酸化炭素排出量の対前年比較】

2. この夏の省エネ取り組み状況

- 以前から実施している割合の高い（8割以上）省エネ行動は……
 - ① 人のいない部屋の照明は、こまめな消灯に心がける
 - ② 冷暖房機器は、不必要なつけっぱなしをしないように気をつける
 - ③ 洗濯をする時は、まとめて洗うようにする
- 以前から実施している割合の低い省エネ行動は……
 - ① 照明は省エネルギー型の電球形蛍光灯やLED照明を使用する
 - ② 電気製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く
- この夏に新たに始めた世帯の多い省エネ行動は……

“冷房は28℃を目安に温度設定する”でした。

今後も認識を持ち、無理のない範囲で引き続き節電・省エネに取り組みましょう。

アンケートに回答いただいた87世帯のうち、“良くできた”と回答した世帯が31%、“少しかできた”と回答した世帯が52%と、多くの世帯が省エネに取り組めたと評価しています。

～クールアースデー 2月のテーマはリビング、オフィスの省エネ(暖房20℃の設定等)～

